

霞ヶ浦導水事業 総事業費の点検結果（案）

資料2-3

（単位：億円）

項	細目	工種	現計画事業費			増減額	増減理由（③）	H21迄 実施済み額	H22以降 残額	事業検証に伴う要素	
			H19P		H22P					工期遅延（1年当り）に伴う要素	
			①	②	③=②-①					金額	内容
建設費			1,785.6	1,755.2	-30.4		1,355.9	399.3	1.8		
	工事費		1,364.9	1,340.3	-24.6		962.2	378.1	0.7		
		取水施設費	349.2	351.8	2.6		316.7	35.1	0.0		
		第1機場費	224.1	226.5	2.4	・自然条件等に対する設計・施工計画変更による金額変更（1.9億円） （取水樋管、雑工（仮締切、護岸工）） ・コスト縮減の取り組み等による金額変更（△0.3億円） （取水樋管のゲート設備開閉装置） ・物価の変化による金額変更（0.8億円）	214.8	11.7	0.0		
		桜川機場費	36.3	36.3	0.0		36.3	0.0	0.0		
		第2機場費	23.2	23.5	0.3	・物価の変化による金額変更（0.3億円）	0.0	23.5	0.0		
		第3機場費	65.5	65.5	0.0		65.5	0.0	0.0		
		導水施設費	937.5	915.4	-22.1		577.3	338.2	0.0		
		第1導水路費	注4 910.5	888.5	-22.1	・自然条件等に対する設計・施工計画変更による金額変更（△15.2億円） （対策工（浄化施設、高浜放流施設）） ・物価の変化による金額変更（△0.8億円） ・支出科目の見直しによる金額変更（△2.7億円） ・不測の事態への備え（△3.4億円）注4	550.3	338.2	0.0		
		第2導水路費	27.0	27.0	0.0		27.0	0.0	0.0		
		管理設備費	78.3	73.1	-5.2	・コスト縮減の取り組み等による金額変更（△5.2億円） （諸設備（施設監視設備）） ・物価の変化による金額変更（0.0億円）	68.3	4.8	0.7	整備済みの施設の維持管理及び工事に用借地の継続等	
		測量設計費	273.8	268.3	-5.5	・物価の変化による金額変更（0.3億円） ・支出科目の見直しによる金額変更（△5.8億円）	259.7	8.6	1.0	水文観測等の継続調査	
		用地費及び補償費	90.9	90.9	0.0		79.2	11.7	0.0		
		船舶及び機械器具費	49.3	49.0	-0.3	・支出科目の見直しによる金額変更（△0.3億円） ・物価の変化による金額変更（△0.0億円）	48.7	0.3	0.0	通信設備維持経費	
		営繕・宿舍費	6.7	6.7	0.0	・物価の変化による金額変更（0.0億円）	6.1	0.6	0.1	借地及び事務所維持補修等	
工事諸費			114.4	143.0	28.6	・支出科目の見直しによる金額変更 8.8億円 ・支出実態に即した金額変更 19.8億円	111.1	32.0	4.7	人件費・事務費、広報費、車両費等	
事業費			注4 1,900.0	1,898.2	注5 -1.8		1,467.0	431.2	6.5		

注1：この検討は、今回の検証プロセスに位置づけられている「検証対象ダム事業等の点検」の一環として行っているものであり、現在保有している技術情報等の範囲内で、今後の事業の方向性に関する判断とは一切関係なく、現在の事業計画を点検するものです。また、予断を持たずに検証を進める観点から、ダム事業の点検及び他の新規利水、流水の正常な機能の維持、水質浄化の代替案のいずれの検討に当たっても、さらなるコスト縮減や工期短縮などの期待的要素は含まないこととしています。

なお、検証の結論に沿っていずれの対策を実施する場合においても、実際の施工に当たってはさらなるコスト縮減や工期短縮に対して最大限の努力をすることとしています。

注2：総事業費については、気象、地盤条件等の自然条件及び試験通水結果等により変動する可能性があります。

注3：四捨五入の関係で、合計と一致しない場合があります。

注4：今後の不測の事態（気象、地盤条件等）の備えとして、平成19年度の事業費精査により生じた約3.4億円が含まれている金額です。

注5：今回の点検の結果、生じた金額。検証の結果を踏まえ事業継続になった場合、今後の不測の事態（気象、地盤条件等）に備え保留予定です。